

令和7年度 小平市立小平第三小学校 学校評価計画表

学校教育目標

○考える子（よく聞き、よく考え、よく判断し、自ら行動できる子）
◎やさしい子（互いの立場や相手のよさを認め合う思いやりのある子）
○元気な子（健康で、生き生きと活動できる子）

目指す学校像(ビジョン)

【目指す学校像】(1)こどもが生き生きと活動する学校 (2)学びの場にふさわしい教室環境の整った学校 (3)家庭・地域に理解され、協力を得て信頼される学校 (4)教職員が互いに高めあい、協働する学校
【目指す児童・生徒像】(1)基本的な生活習慣を身に付け、自立心を育てる (2)互いに助け合い、思いやる豊かな心を育てる (3)ねばり強く最後までやり通す気持ちを育てる
【目指す教員像】(1)「よいところをもっとよく」を基本に実践を進める。(2)「豊かなふれあい・確かな児童理解・きめ細かな指導」を徹底する

前年度までの学校経営上の成果と課題

【成果】学習指導や生活指導については肯定的なアンケート結果が出たことから、日常的な教員の関わりや支援体制の成果が出ていると考えられる。
【課題】いじめ対策については引き続き本校の取り組みの発信が必要である。保護者会や学校だよりなどを通していじめ防止についての情報を伝えていく。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標			
学力向上	授業改善と学習活動の一層の充実を図る。	「分かる授業」をできるように教科指導を行う。	デジタル教材を効果的に活用した授業を行い、児童の学力を向上させる。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 保護者・児童アンケートの「分かる授業」について肯定的回答率90%以上				
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	3 保護者・児童アンケートの「分かる授業」について肯定的回答率80%以上				
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上	2 保護者・児童アンケートの「分かる授業」について肯定的回答率70%以上				
		OJTを充実させる。	OJT研修会を学期に3回程度設定する。若手教員が学びたいと考えている内容の研修も計画する。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 保護者・児童アンケートの「分かる授業」について肯定的回答率70%未満				
				4 実施率100%	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上				
				3 実施率90%以上	3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上				
健全育成	他者と人間関係を築く力を育成させる。	学校全体でいじめに対応する。	いじめ調査を毎月行い、対策委員会を実施する。教員間で配慮の必要な児童の情報を共有する。	2 実施率80%以上	2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上				
				1 実施率80%未満	1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満				
				助け合いと思いやる心を育む。	特別活動を推進し、居心地の良い学級・学校づくりを行う。	4 実施率100%	4 いじめ解消率が90%以上		
		3 実施率90%以上	3 いじめ解消率が80%以上						
		2 実施率80%以上	2 いじめ解消率が70%以上						
		健康づくり	健やかな心と体を育成する。	適度な運動を行い、生涯スポーツにつながる運動習慣を付けさせる。	縄跳び週間やドッジボール週間などで体を動かす楽しさを実感できる機会を提供し、継続した運動習慣につながるように指導する。	1 実施率80%未満	1 いじめ解消率が70%未満		
規則正しい生活をさせる。	保健指導や日頃の学級活動を通して、睡眠時間や食生活の大切さを指導していく。					4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 保護者・児童アンケートの肯定的回答率90%以上		
						3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	3 保護者・児童アンケートの肯定的回答率80%以上		
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上	2 保護者・児童アンケートの肯定的回答率70%以上				
コミュニティ	地域との連携を深める。			地域の中の学校として、地域の人材を学習に活用する。	地域連携コーディネーターやPTA等と連携を図り、地域の人材を活用した学習を行う。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 保護者・児童アンケートの肯定的回答率70%未満		
						地域に開かれた学校を目指し、学校の様子を発信していく。	ホームページの学校日記で学校の様子を各学年週に1回以上更新する。	4 全学年で地域の人材を活用	4 保護者・児童アンケートの肯定的回答率90%以上
		3 3分の2以上の学年で地域の人材を活用	3 保護者・地域アンケートの肯定的回答率80%以上						
		2 2分の1以上の学年で地域の人材を活用	2 保護者・地域アンケートの肯定的回答率70%以上						
		働き方改善・	教職員の働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、児童に対して効果的な教育活動を行う。	業務改善の具体的方策について共通理解を図り、教職員全体で意識改革を図る。	EA、SSS等支援スタッフの活用や業務の精選により負担を軽減する。	1 地域の人材を活用した授業が2分の1未満	1 保護者・地域アンケートの肯定的回答率70%未満		
						カリキュラム・マネジメントを行う。	目標達成に向けた教科間の関連性を意識した年間学習計画を利用し、業務改善を図る。	4 各学年が週に1回以上更新	4 保護者・地域アンケートの肯定的回答率90%以上
3 各学年が月に3回以上更新	3 保護者・地域アンケートの肯定的回答率80%以上								
2 各学年が月に2回以上更新	2 保護者・地域アンケートの肯定的回答率70%以上								
						1 各学年の更新が月に2回未満	1 保護者・地域アンケートの肯定的回答率70%未満		
		3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	3 教職員の成果評価で、肯定的回答80%以上						
2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上	2 教職員の成果評価で、肯定的回答70%以上								
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の成果評価で、肯定的回答70%未満				
								4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の成果評価で、肯定的回答90%以上
								3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	3 教職員の成果評価で、肯定的回答80%以上
2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上	2 教職員の成果評価で、肯定的回答70%以上								
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の成果評価で、肯定的回答70%未満				